

水道局
鉛および銅の規則改訂（LCRR）
ファクト・シート

2021年1月15日、米国環境保護庁（EPA）は、飲料水中の鉛暴露を減らすための鉛および銅の規則改訂（LCRR）を実施しました。この規則は、最もリスクの高い地域社会を特定し、飲料水中の鉛濃度の上昇を抑えるための対策を講じることで、水道システムが迅速に対応できるようにするものです。

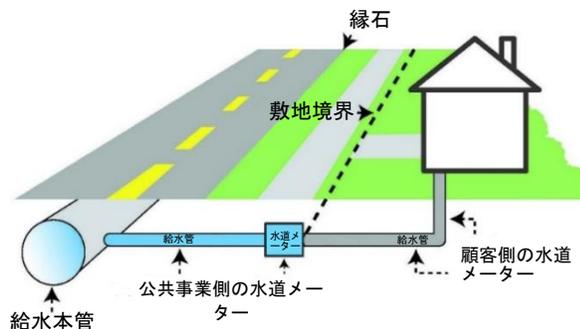
このファクトシートは、LCRRの規則制定日、汚染物質規制値、主な要求事項をまとめたものです。この規則に関する詳細は、<https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/revised-lead-and-copper-rule> をご覧ください。

規則制定日と汚染物質規制値

1. 2021年1月15日公布の最終規則
2. 発効日：2021年12月16日
3. 遵守日：2024年10月16日
4. 汚染物質規制値
 - a. 対策レベル（90パーセンタイル値）
 - i. 鉛濃度：15ppb（10億分の1）
 - ii. 銅濃度：1.3ppm（100万分の1）
 - b. 鉛のトリガーレベル
 - i. 10ppb以上15ppb以下の90パーセンタイル値

規則要件

1. 水道メーターの公益事業側と顧客側のすべての給水管の一覧表を作成し、材料を特定する。
2. 水道メーターの公共事業側と顧客側。



3. 各給水管を以下の4つの定義のいずれかを用いて分類する。
 - a. 鉛：水道本管と建物の給水口をつなぐ鉛製のパイプの部分。

- b. 非鉛製（銅、プラスチックなど）：給水管は、証拠に基づく記録、方法、または技術によって、鉛製または GRR ではないと判断される。
 - c. Galvanized Requiring Replacement（GRR：交換が必要な亜鉛めっき）：現在鉛製給水管（LSL）の下流にあるまたは過去に下流にあった亜鉛めっき給水管、もしくは現在不明な給水管の下流にある亜鉛めっき給水管。
 - d. 鉛の状態は不明（すなわち：不明または材料タイプ不明）：給水管の材料が、材料分類を裏付ける文書化された証拠がない場合など、鉛、GRR、非鉛のいずれであるかが不明な場合。
4. 一覧表の結果を一般に公開するため、検索可能なデータベースを提供する。BWS のデータベースは、<https://lead.boardofwatersupply.com/>をご覧ください。
 5. 一覧表の結果に基づき、特定のサンプル地点で水道水検査を実施し、検査結果の一般公開を行う。
 6. 学校や保育施設で水道水検査を実施する。
 7. 鉛製給水管（LSL）、GRR、および／または鉛の状態が不明な公共事業は、LSL 交換計画を作成し、実施しなければならない。2023 年 6 月 30 日現在、BWS はシステム内で鉛製の給水管を発見していない。